# 責任あるパーム油調達方針　進捗レポート

## 2022 年 1 月～6 月



2023 年 2 月

不二製油グループ本社株式会社

# 目次


編集方針 ..... p.2
目指す姿 ..... p.3
進捗状況 ..... p.4-12
実績データ ..... p.4-5
1. トレーサビリティ ..... p.6
2. パルマジュ社サプライチェーン改善活動（インドネシア/マレーシア） ..... p.7
A. 「搾取ゼロ」実践のための取り組み （LTP）
B. 変革のための自己評価ツール（T4T）
C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み
3. 認証油の取り扱い ..... p.8
4. グリーバンスメカニズム ..... p.8
5. APT ランドスケープイニシアチブ（インドネシア/マレーシア） ..... p.9-10
6. 小規模農家支援（マレーシア） ..... p.11
お知らせ ..... p.12

# 編集方針

## 本報告書について

本レポートは、NDPE（No Deforestation, No Peatland Development and No Exploitation）達成に向けた取り組みについて、2022 年 1 月から 2022 年 6 月までに実施した活動の進捗を報告します。
年次で報告するサステナビリティレポートの中間報告として作成しています。

**責任あるパーム油調達方針推進のための活動**

1. トレーサビリティ
2. パルマジュ社サプライチェーン改善活動
3. RSPO 認証油の取り扱い
4. グリーバンスメカニズム
5. Areas for Priority Transformation （APT）ランドスケープイニシアチブ（インドネシア/マレーシア）
6. 小規模農家支援（マレーシア）

# 目指す姿

**不二製油グループ 責任あるパーム油調達方針（2016 年 3 月策定）**

当社グループのサプライチェーンにおけるすべてのパーム油生産に対する「森林破壊ゼロ」「泥炭地開発ゼロ」「搾取ゼロ」(NDPE)へのコミットメントを表明するものです。

https://www.fujioilholdings.com/news/2016/__icsFiles/afieldfile/2018/01/12/160310.pdf

**KPI（2020 年 6 月策定）**

1. 農園までのトレーサビリティ
    - 2030 年: 100%

2. 労働環境改善プログラム適用率
    - 2025 年: Palmaju Edible Oil Sdn （マレーシア）の全サプライヤーに対し 100%
    - 2030 年: 全直接サプライヤーに対し 100%

# 進捗状況

**表 1. 実績データ**

| | | | 2019 年<br>（2019 年 1 月～<br>2019 年 12 月末） | 2020 年<br>（2020 年 1 月～<br>2020 年 12 月末） | 2021 年<br>（2021 年 1 月～<br>2021 年 12 月末） | 2022 年 6 月時点<br>（2022 年 1 月～<br>2022 年 6 月末） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| トレーサビリティ | | | TTM[*1] 100%<br>TTP[*2] 52% | TTM 100%<br>TTP 71% | TTM 100%<br>TTP 85% | TTM 100%<br>TTP 88% |
| 労働環境改善<br>プログラム適用率 | | | - | パルマジュ社の全サプライヤーの 10% | パルマジュ社の全サプライヤーの 27% | 2023 年 3 月末までにパルマジュ社の全サプライヤーの約 30%に適用完了予定 |
| 変革のための自己評価（Tools for Transformation： T4T） | | | アセスメント実施サプライヤー数<br>パルマジュ社[*3]のサプライヤー<br>搾油工場：8<br>農園： 10<br>パルマジュ社の間接サプライヤー<br>搾油工場：14<br>農園： 11 | アセスメント実施サプライヤー数<br>パルマジュ社のサプライヤー<br>搾油工場：7<br>農園： 5<br>パルマジュ社の間接サプライヤー<br>搾油工場：10<br>農園： 0 | 自己評価質問票ならびに行動計画の提出状況<br>パルマジュ社のサプライヤー：提出率 100%<br>パルマジュ社の間接サプライヤー：提出率 85%<br>農園：24 農園 | 2022 年 12 月までに全サプライヤーから自己評価質問票提出済。今後評価予定。 |
| 森林破壊ゼロ検証 | | | – | パルマジュ社のサプライチェーン上の 70%が森林破壊に無関与 | パルマジュ社のサプライチェーン上の 83%が森林破壊に無関与 | パルマジュ社のサプライチェーン上の 87%が森林破壊に無関与 |
| RSPO 認証油取り扱い比率 | | | 24% | 32% | 41% | 52% |
| グリーバンス受付累計件数 | | | 101 件<br>（2018 年 5 月～<br>2020 年 3 月末） | 228 件<br>（2018 年 5 月～<br>2021 年 3 月末） | 261 件<br>（2018 年 5 月～<br>2022 年 3 月末） | 259 件[*4]<br>（2018 年 5 月～<br>2022 年 11 月末） |
| ランドスケープイニ | インドネシア | 森林の保護と再生 | – | – | 8,060 ha | 8,741.6 ha[*5] |
| | | 農家トレーニング | 農業指導実施：245 人 | 305 人 | 268 人 | 268 人 |
| | | 土地の保有権と安全保障 | 土地利用計画策定にかかわる村数：5 | 6 | 8 | 8 |
| | | 紛争解決システム | 紛争解決システム設置村数：5 | 6 | 15 | 15 |
| | マレ | 森林破壊の削減 | – | – | ベースライン調査 | ベースライン調査 |
| | | 農家トレーニング | – | – | 200 農家 | 181 農家 |

# 進捗状況

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| シアチブ | ーシア | 野生動物との共生に関するトレーニング | – | – | 200 農家 | 181 農家 |
| 小規模農家支援 | | RSPO 認証取得支援 | 306 軒の農家の認証新規取得または維持を支援（2016 年 1 月～2019 年 12 月） | ● 117 軒の農家の認証新規取得または維持を支援（2020 年 6 月～2021 年 5 月）<br>● 累計支援数：423 軒 (2016 年 1 月以降) | ● 280 軒の農家の認証新規取得または維持を支援（2021 年 6 月～2022 年 5 月）<br>● 累計支援数：703 軒(2016 年 1 月以降) | 2022 年 6 月以降も、引き続き認証の新規取得／維持のためのトレーニング提供中 |
| | | BIO 農法支援 | – | BIO 農法支援開始（2020 年 6 月～） | – | BIO 農法に適合した農園数（累計）：20 軒（2022 年 5 月時点） |

*1 TTM：搾油工場までのトレーサビリティスコア（Traceability To Mill）

*2 TTP：パーム農園までのトレーサビリティスコア（Traceability To Plantation）

*3 パルマジュ社：パルマジュエディブルオイル（ Palmaju Edible Oil Sdn （マレーシア））
不二製油グループ本社の 100%子会社の油脂製造拠点

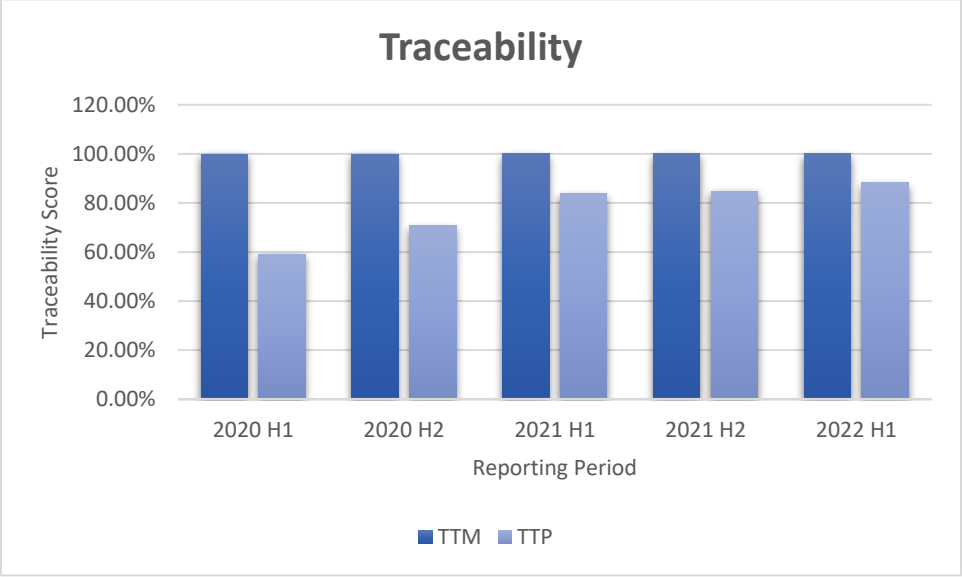
*4 重複排除による減少

*5 累計値

# 進捗状況

## 1.トレーサビリティ

2022 年 1 月から 2022 年 6 月までの期間において、引き続き TTM100%を維持しました。また、TTP は 2021 年の 84%、2020 年の 59%から 88%に向上しています。近年、自社のサプライチェーン上の搾油工場までのトレーサビリティや搾油工場リスト（ミルリスト）、グリーバンスリストなどの情報公開を強化するパーム油取り扱い企業が増えています。協働する NGO 等と共に、取引業者やサプライヤーと協力し、TTP スコア向上に引き続き取り組んでいます。




**図表 1: 不二製油グループ全体のトレーサビリティスコア**

# 進捗状況

**2.パルマジュ社サプライチェーン改善活動**

責任あるパーム油調達方針を実践する戦略として、当社グループの一次精製会社であるパルマジュ社のサプライチェーン上のサプライヤーに対して、Aggregator Refinery Transformation 計画 (ART)を採用しています。
2016 年以降、精製会社、搾油工場、農園など、サプライチェーンにおける様々なパートナーの参画に取り組んでいます。サプライチェーンにおける優先的な課題に焦点を当て、多くの具体的な変革活動を中心に戦略を展開しています。本レポートでは、**A.「搾取ゼロ」実践のための取り組み （Labour Transformation Programme :LTP）、B. 変革のためのツール（Tools for Transformation :T4T）、C.「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み** の 3 つの活動をご紹介します。

## A.「搾取ゼロ」実践のための取り組み （LTP）

今期パルマジュ社のサプライチェーンにおいて、主要なサプライヤーと 2 つの新たな取り組みを開始しました。Covid-19 による規制のため延期されていた 2020-2021 年の計画の一部です。Covid-19 の影響もありましたが、サプライヤーとの緊密なコミュニケーションにより、取り組みを完了することができました。2022 年後半には、さらに 2 件の取り組みを開始する予定です。現在、パルマジュ社のサプライヤーの 27%が LTP に取り組んでいます。
https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

## B. 変革のための自己評価ツール（T4T）

2021 年から、アセスメントに参加するサプライヤー数が増加しています。直接サプライヤーの 100%、間接サプライヤーの 85%が自社の取り組みを自己評価し、2020 年には 52%だった間接サプライヤーが大幅に改善されました。

2022 年上半期、パルマジュ社のサプライチェーン上のサプライヤーは、T4T アセスメントを通じ継続して自身の進捗を共有しています。この活動は 2022 年に向けて現在進行中であり、このアセスメントは、NDPE に向けたコミットメントの一環として、当社グループがサプライヤーに対してモニタリング、支援、協働するために役立つものです。
https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

## C.「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み

マレーシアの Covid-19 の状況や規制が改善されたため、2 つの主要サプライヤーと再び協働し、森林破壊への関与のないパーム果房(FFB)を調達するための活動を行いました。パルマジュ社のサプライチェーンの 87%で森林破壊がないことを確認しました。
https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

# 進捗状況

### 3. 認証油の取り扱い

不二製油グループは、パーム油の持続可能な生産・消費体系を構築する趣旨に賛同し、2004 年から「持続可能なパーム油のための円卓会議（Roundtable on Sustainable Palm Oil: RSPO）」に加盟しています。RSPO は、持続可能な認証パーム油（Certified Sustainable Palm Oil：CSPO）を生産する上で、業界で最も広く認知されている国際的な認証制度です。RSPO の新ルールである「責任の共有原則」を実践し、CSPO の調達量を年々拡大しています。
2022 年上半期には、当社グループが取り扱うパーム油の調達量に占める CSPO の割合が約 52%になりました。これは、United Plantations Berhad との合弁会社である UniFuji Refinery（マレーシア）の供給能力拡大に伴う需要増が大きく寄与しています。今後は、同じマレーシアにあるパルマジュ社の戦略的サプライヤーと連携を深め、CSPO の調達量を増やすことで、より多くのお客様のご要望にお応えしていきます。

＊ 進捗は www.rspo.org/ をご確認ください。

### 4. グリーバンスメカニズム

「責任あるパーム油調達方針」を実現するため、2018 年 5 月にグリーバンスメカニズムを構築しました。グリーバンスメカニズムは、ステークホルダーから不二製油グループに提起されたサプライチェーン上の環境・人権問題について、「責任あるパーム油調達方針」に基づいて、パートナーとともにサプライヤーとのエンゲージメントを行い、問題を改善する仕組みです。2020 年度からは、パーム油のサプライチェーンにおける森林破壊のモニタリングおよび検証するため、衛星通信会社の Earthqualizer とパートナーシップを結んでいます。このパートナーシップにより、インドネシアとマレーシアの当社グループのサプライチェーンで発生した森林破壊を特定し、モニタリング、対処、検証することが可能になりました。この情報を利用することで、サプライヤーと解決策を検討し、ステークホルダーとより効果的なコミュニケーションを図ることができます。
2022 年から、NPO の Earthworm Foundation（EF）と協力してグリーバンス対応の改善にも取り組んでいます。当社グループはパーム油のサプライチェーンに関連する事例報告を受け、サプライヤーに事例を提起し、グリーバンスが確実に対処されるようにしました。今後も継続的に案件をモニタリングし、NDPE コミットメントの一環として、サプライチェーン内で提起された問題に対処していきます。
2022 年 6 月末までに累計 259 件のグリーバンスを受け付け、その約 8 割が解決済みです。
詳細は以下をご参照ください。
https://www.fujioilholdings.com/en/sustainability/grievance_mechanism/

# 進捗状況

### 5. APT ランドスケープイニシアチブ（インドネシア、アチェ）

2018 年より、重要な調達先であるインドネシアにおいて、森林破壊を減らし、持続可能な商品生産、保全、良好な社会・労働慣行の実行可能性を大規模に実証するために、EF を通じてアチェ・タミアン地域のランドスケープイニシアチブに参画しています。

2021 年には Covid-19 による長期的な制限もありましたが、2022 年上半期には、政府による移動制限がなくなったため、本取り組みではフィールドワークを継続することが出来ました。4 月中旬から 5 月中旬にかけては、パートナーや主な活動地域の対象者がラマダンに参加したため活動が停滞しましたが、いくつかの分野で有意義な進展がありました。進捗状況は以下の通りです。

- 4 つの村で参加型土地利用計画（PLUP）の結果に関する公開協議を行い、さらに 2 つの村で PLUP のマッピングのコンポーネントを完了させました。
- Bawan 村、Singgersing 村、Pasir Belo 村で、PLUP を現地の法律に組み込むための村の規則案の作成を支援しました。これらの規則案は、PLUP に関する公開協議の結果に基づいて保護すべき地域の概要を示したもので、Subulussalam 県政府の法務部門に提出され承認されました。
- Pasir Belo 村のコミュニティが所有する境界地域の土地に、様々な果樹を植えることで修復計画を実施することを支援しました。
- 労働省の Subulussalam 地区事務所と協力して、労働ワーキンググループの設立を支援しました。労働ワーキンググループの目的のひとつは、労働関連の要件や問題に対処するための行動計画を策定することです。また、EF と労働省は、パーム油会社と労働組合の協働を促すことも計画しています。



**Subulussalam 州政府との夕食・対話会**



**木材プランテーション間の動物コリドー**

# 進捗状況

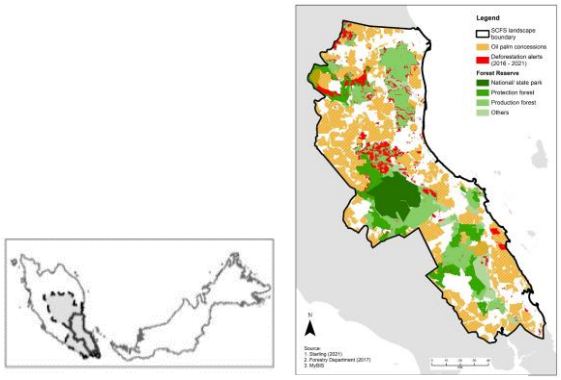
## 5. APT ランドスケープイニシアチブ（マレーシア、South Central Forest Spine :SCFS）

SCFS ランドスケープを重点変革エリアのひとつに掲げています。2022 年初頭より、NDPE 基準への前進を目指し、EF を通じてランドスケープの取り組みをさらに支援しています。SCFS ランドスケープにおけるパーム油のサプライチェーンは相互に関連しており、ランドスケープ内の複数のステークホルダーと連携し、販売店の関与、労働慣行、人間と野生動物の共存を通じた TTP に関連した変革を推進することが重要です。2022 年上半期の主な進捗は以下の通りです。

- 不二製油グループ、マレーシアパーム油認証評議会（Malaysian Palm Oil Certification Council：MPOCC）、マレーシアパーム油庁（Malaysian Palm Oil Board：MPOB）、EF が共同で、Johor 州の不二製油サプライチェーンの販売店 20 社を対象に、TTP100%達成のためのギャップを埋めることを目的とした販売店トレーサビリティワークショップを開催しました。

- the Ministry of Primary Industry and Commodities との連携により、18 社に強制労働・児童労働に関する啓発を行いました。

- 現在までに、3 つの村から 200 人の農業従事者が、肥料管理トレーニングや、野生動物との共存を目的とした農園での象の早期発見・警告システムの開発などのプログラムに参加し、農園での緊急課題に対処しています。




**マレーシア 、SCFS プロジェクトエリア**




**マレーシアパーム油公社との TTP 連携に関する対話**



**小規模農家、施設訪問**

# 進捗状況

## 6. 小規模農家支援

2016 年 1 月より、他企業と共にマレーシアの社会的企業である Wild Asia が主宰する小規模農家の支援組織 Wild Asia Group Scheme (WAGS)に参画しています。プロジェクトの詳細はサステナビリティレポート 2022 をご覧ください。

**認証取得支援プロジェクト**では、COVID-19 以降初となる RSPO 監査が 2022 年 3 月に実施されました。WAGS による支援の結果、既に認証を取得している小規模農家が認証ステータスを維持できただけでなく、229 軒の小規模農家が新規で RSPO 認証を取得することができました。WAGS 参加農家の増加は現地チームの継続的なエンゲージメントによるものです。当社グループが認証取得支援を行った小規模農家の総数は、2016 年以降累計で 703 軒にのぼります（2022 年 5 月時点）。

**WAGS BIO プロジェクト**では、Wild Asia によって定義された基準を満たす「BIO 農家」軒数が、サバ州において 20 軒に達しました（2022 年 5 月時点）。化学肥料を削減しながら農家の収入や収率を最適化するための継続的なエンゲージメントのみならず、アブラヤシの葉からバイオ炭をつくるための試験的取組みを実施しています。バイオ炭は土壌改善のために利用されます。10 軒の農家がバイオ炭の試験プログラムに参加しています。現地チームはまた、BIO 農法による影響を分析するために、農園のデータを集計しています。



**Wild Asia 現地職員が WAGS BIO 農家に対して生姜の間作を指導・支援する様子**



**WAGS を通して RSPO 認証を受けた農家の皆さん**



**キナバタンガンで開催された WAGS BIO ワークショップ**

# お知らせ

**今後の進捗報告予定：**

・2023 年度上期：サステナビリティレポート 2023 発行

・2023 年度下期：責任あるパーム油調達方針進捗レポート発行